

# 札幌市住まいの協議会

## 第4回 市営住宅小委員会 議事要旨

### (1) 日時

平成22年7月28日 13:30～16:00

### (2) 場所

札幌市役所本庁舎 地下2階 1号会議室

### (3) 次第

- 1 開会
- 2 報告事項
  - (1)第3回市営住宅小委員会議事要旨・議事録について
  - (2)第3回民間住宅小委員会の審議内容について
- 3 審議
  - (1)課題に対する今後の方向性の検討について
  - (2)次回のスケジュールについて
- 4 閉会

### (4) 出席委員

委員長 谷本 一志 東海大学国際文化学部 教授  
委員 高橋 浩子 公募委員  
委員 細貝 政道 (社)北海道宅地建物取引業協会 専務理事

### (5) 議事概要

#### (開会)

#### (資料説明)

#### (審議)

#### 《答申の構成(案)について》

- ・30～40倍という市営住宅の応募倍率だけをみて、市営住宅を建設していても維持・管理費が膨らんでいくばかりで、抜本的な解決にはならない。
- 真に住宅に困窮している方々との公平性を確保するために、入居承継の問題、高額所得者への対応などを厳格に取り組んでいく必要がある。

## 《答申骨子（案）について》

### ○市営住宅の供給について

- ・「全体の管理戸数は現状維持」とする中で「民間住宅の活用も検討」とあるなど、関係性が判りにくいので、施策の体系や取り組む手順を判りやすく説明する必要がある。
- ・市営住宅の供給は、入居者選考のあり方の検討や入居承継の厳格化などの取組みとも関係するので、それら全体を一体的に整理すべき。

### ○良質な住宅ストックの形成について

- ・エレベーターの無い住棟については低層階の部屋が空いた時に上層階からの住み替えを可能にしたり、障がい者の場合は別枠を設けるなど、ハード整備に頼らずとも効果が上がる方策について検討すべき。

### ○住宅確保要配慮者への対応について

- ・広い住戸に単身で住んでいる方を、狭いが家賃も安い部屋へ誘導し、空いた部屋を世帯向けに提供するなど、今後はより市営住宅を有効に活用していくことが重要となる。

### ○福祉施策・まちづくり施策等との連携について

- ・自治会などが地域の状況を一番把握しているので、このような地域のコミュニティとの連携・協力体制を保つことが有効ではないか。

### ○ニーズの把握と住情報の提供について

- ・各団体との連携によるセーフティネットの構築は重要なテーマであり、業界団体としても積極的に進めていく必要があると考える。
- ・住情報の提供を行っている各団体であっても、情報量の少ない分野があるので、各団体へ情報提供し、共有することが必要である。

